

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀市PR番組放送委託事業		
所管課	44	秘書広報情報課 (総務部)	宇陀市一般会計予算		
事業の目的	本市の住み良さや自然の豊かさ、それに桜等の開花情報、夏祭り、秋祭り等の観光情報を盛り込んだ動画を自主放送で制作し、奈良テレビ放送で制作している番組(「ゆうドキ」内コーナー「いきいきまちだより」)内で放映し本市の魅力をPRし観光等の振興につなげる。		区分	No.	区分名
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	2	文書広報費
細目	1	文書広報費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第6章 第2節 行政サービスの向上				
H26年度事業の概要	奈良テレビ放送番組「ゆうドキ」内コーナー「いきいきまちだより」(毎週金曜日放送)で放送する。なお、県内各市情報番組は奈良テレビで制作するが、本市には自主放送により動画を制作することが出来るので制作経費を削減することができる。その特性を活かし自主放送で動画を制作し、奈良テレビ放送番組で放映する。動画24回(70秒/回)/年間 : 静止画1回(30秒/回)/週 データ放送(週1回更新)/年間を通じ視聴可能 放送用加工料及び電波料 824千円/年		財源の内訳 (単位:千円)		
			分担金		
事業の成果	本市の住み良さや豊かさ、観光情報等を積極的にPRすることにより交流人口の増加が期待できる。又、本市の魅力を市内外の方に認識していただく事により定住先を探している方に選択する際の参考としていただく。		使用料		
			国費		
			県費		
			市債		
			その他		
			一般財源	824	
			H26予算額	A	824
H25当初予算額	B	802			
H25現計予算額		802			
増減額	A-B	22			
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	/	802			
従事職員数【人工】		0.50			
人件費(人工×8,000千円)		4,000			
総事業費:人件費含む(千円)		4,802			
活動指標名	放映回数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績	単位	76			
単位当たりコスト(円)			63,184		
事業の目標	積極的に市内外に当市の魅力をPRすることにより交流人口を増加させるとともに、当市のまちづくりについても紹介し新たな定住先としての魅力を発信する。 ①観光イベント・交流イベント参加者数の増 ②転入人口の増		備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (9)宇陀市PR番組放送委託事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	市政モニター事業				
所管課	44	秘書広報情報課 (総務部)	宇陀市一般会計予算				
事業の目的	広聴業務は行政に対して市民が直接、意見や要望を伝えることができる市民参画の手法の一つであり、同時に、市民ニーズを的確に把握し、市民参画の推進を図るための事業であり、その実施手法によっては、市民と行政との関係性にもつながる事業である。 本市においても、他市と同様に市政に対する市民の意見等を継続的に聴取し、市政への市民参加と開かれた市政の実現に向けて、市政モニター制度の運用を行う。		区分	No.	区分名		
			款	2	総務費		
			項	1	総務管理費		
			目	2	文書広報費		
細目	1	文書広報費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり						
H26年度事業の概要	・公募制とし、中学生以上の市民を対象に募集(定員100名) ・年3~5回程度アンケートを実施することとし、アンケート結果については原則公開する。		財源の内訳 (単位:千円)				
			分担金				
事業の成果	市政への市民参加と開かれた市政の実現。 市民と行政の相互理解を深め、円滑な市政運営に資する。		使用料				
			国費				
			県費				
			市債				
			その他				
			一般財源	134			
			H26予算額	A	134		
			H25当初予算額	B			
H25現計予算額	100						
増減額	A-B	134					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/	100					
従事職員数【人工】		0.20					
人件費(人工×8,000千円)		1,600					
総事業費:人件費含む(千円)		1,700					
活動指標名	アンケート実施回数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	単位	4				単位	回
単位当たりコスト(円)	425,000						
事業の目標	市民の市政への関心の高まりと市政参加の促進 公募制である市政モニターへの応募者数の増		<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (4)市政モニター事業				

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	庁舎管理業務・庁舎省エネ化工事							
所管課	45	管財課	(総務部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	・庁舎管理経費の節減、現在の省エネルギー事情への対応、CO <sub>2</sub> 削減を目的に庁舎設備の省エネ化を図る。 ・本庁舎においては、平成25年度にLED照明を導入するなど設備の省エネ化に取り組み、市内各施設での導入検討の参考事例にするほか、市民に向けての啓発機会とする。				区分	No.	区分名			
					款	2	総務費			
					項	1	総務管理費			
					目	3	財産管理費			
細目	1	本庁財産管理費								
根拠条例等	宇陀市庁舎管理規則 他									
総合計画	基本計画 第1章 第1節 自然環境の保全と活用									
H26年度事業の概要	OLED照明設置工事 ・昨年に続き、本庁舎の照明設備をLED照明に交換する。 今年度については、次の箇所で実施予定。 未交換の事務フロア・通路部分・街灯の照明等、効果を考慮して予算の範囲内で実施予定 約 300箇所				財源の内訳 (単位:千円)					
	事業の成果	・庁舎電気使用量の節減 ・庁舎管理経費の節減 ・二酸化炭素ガス排出量の削減 ・市民に向けての省エネ・CO <sub>2</sub> 削減に対する啓発活動の促進				分担金				
使用料										
国費										
県費										
市債										
その他										
一般財源						5,000				
H26予算額	A 5,000									
H25当初予算額	B 5,000									
H25現計予算額	5,111									
増減額	A-B									
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	21	5,110								
従事職員数【人工】	0.01	0.05								
人件費(人工×8,000千円)	80	400								
総事業費:人件費含む(千円)	101	5,510								
活動指標名	節電効果									
活動指標の算式	LED照明器具数/全体照明器具数(2,121ヶ所)									
活動指標の実績	4 単位 ヶ所	305 単位 ヶ所								
単位当たりコスト(円)	25,250	18,066								
事業の目標	・節電効果及び電気料金の節減 ・本庁舎での導入結果を参考に、市内の公共施設等での省エネ化の促進に寄与する。						<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (7)地球環境に配慮した施策			
							備考			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	奈良交通路線バス運行補助				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	1	本庁企画費					
根拠条例等	宇陀市生活路線バス運行対策費補助金交付要綱						
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実						
H26年度事業の概要	社会情勢の変化により公共交通の利用者が減少し、バス路線の維持が困難となっていることから、赤字路線について民間バス事業者に運行経費の補助を行う。 奥宇陀線(上内牧系統) 3,000千円 桜井菟田野線 1,100千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	民間バス路線の維持(H24実績) 奥宇陀線(上内牧系統) 年間利用者数 3,268人 桜井菟田野線 年間利用者数 28,754人				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	4,100	
					H26予算額	A 4,100	
					H25当初予算額	B 3,800	
H25現計予算額	3,800						
増減額	A-B 300						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	3,591	3,800					
従事職員数【人工】	0.10	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800	800					
総事業費:人件費含む(千円)	4,391	4,600					
活動指標名	利用者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	3,268	単位 人				3,650	単位 人
単位当たりコスト(円)	1,344					1,260	
事業の目標	民間バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ほっとバス錦運営協議会補助事業						
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名		
					款	2	総務費		
					項	1	総務管理費		
					目	4	企画費		
細目	1	本庁企画費							
根拠条例等	宇陀市廃止路線代替バス運行対策事業補助金交付要綱								
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実								
H26年度事業の概要	三重交通バス安部田線の廃止に伴う交通手段確保のため、名張～室生龍口間を運行しているほっとバス錦運営協議会に補助を行う。				財源の内訳 (単位:千円)				
					分担金				
事業の成果	バス路線の維持 平成24年度利用者数 1日平均33.84人 運行日数 244日				使用料				
					国費				
					県費				
					市債				
					その他				
					一般財源	500			
					H26予算額	A 500			
					H25当初予算額	B 500			
H25現計予算額	500								
増減額	A-B								
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		500	500						
従事職員数【人工】		0.05	0.05						
人件費(人工×8,000千円)		400	400						
総事業費:人件費含む(千円)		900	900						
活動指標名		利用者数							
活動指標の算式		-							
活動指標の実績		8,257	単位	人			8,500	単位	人
単位当たりコスト(円)		109		106					
事業の目標	バス路線を維持することにより、市民の移動手段の確保や利便性の向上のみならず、交流人口の増加、商業や観光振興に寄与する。						備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	榛原大野線運行事業					
所管課	81	企画課	(企画財政部)					
事業の目的 公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	3	代替バス運行事業費						
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例							
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実							
H26年度事業の概要 奈良交通の撤退したバス路線の代替として、宇陀市役所と室生地域事務所間の市営有償バスを運行する。 運行便数: 10便/日 使用料: 大人350円 小人180円					財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果 平成19年度より奈良交通バス撤退路線の代替バスとして運行を行っている。 平成24年度 運行日数 245日 年間利用者数 1,965人 運行便数 1,225便					使用料	766		
					国費	2,719		
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	882		
					H26予算額	A	4,367	
					H25当初予算額	B	4,258	
					H25現計予算額	4,258		
					増減額	A-B	109	
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)				
決算額又は決算見込額(千円)			4,044	3,710				
従事職員数【人工】			0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)			800	800				
総事業費:人件費含む(千円)			4,844	4,510				
活動指標名			利用者数					
活動指標の算式			-					
活動指標の実績			1,965	単位	人			
単位当たりコスト(円)			2,465	単位	人			
事業の目標			奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表の見直し等を行い利用者を増やしていく。					
備考			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保					

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	薬草試験栽培委託事業		
所管課	81	企画課	(企画財政部)		
事業の目的	推古天皇の薬草狩りの地、また製薬業発祥の地宇陀市として「薬草のまちづくり」を推進し宇陀市の賑わい創りに資する。そのためにも、まず薬草栽培が宇陀市で特産化されるためにその試験栽培を行い、得たデータを基に栽培推進を支援する。				宇陀市一般会計予算
	区分	No.	区分名		
	款	2	総務費		
	項	1	総務管理費		
	目	4	企画費		
細目	8	うだ賑わい創り事業費			
根拠条例等					
総合計画	基本計画 第5章 第1節 農林業活性化 ・ 第5章 第2節 商工業の活性化				
H26年度事業の概要	宇陀市における薬草栽培のデータ収集・資料作成 旅費 10千円 種苗等購入 421千円 委託費 1,648千円				財源の内訳 (単位:千円)
	事業の成果	薬草栽培データ・資料を基に市内において薬草栽培を推進し、宇陀市の新たな特産品とすることで、地域産業の活性化を図る。具体的には、薬草産地となることにより薬品会社の工場等の施設を誘致したり、薬草加工品、薬膳料理、薬湯などにより経済や観光の刺激策とする。 また、遊休農地、耕作放棄地の解消を行うことにより、自然環境の保全が図れる。			
使用料					
国費		1,900			
県費					
市債					
その他					
一般財源		179			
H26予算額		A 2,079			
H25当初予算額	B 2,400				
H25現計予算額	2,400				
増減額	A-B ▲ 321				
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		1,156	合併市町村補助金 1,900千円		
従事職員数【人工】		0.50			
人件費(人工×8,000千円)		4,000			
総事業費:人件費含む(千円)		5,156			
活動指標名	苗栽培本数				
活動指標の算式	-				
活動指標の実績		30,000	単位	本	
単位当たりコスト(円)		172			
事業の目標	消費の拡大と地域商工業の活性化				備考
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業



平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市勢要覧作成事業					
所管課	81	企画課	(企画財政部)					
事業の目的 宇陀市は平成28年1月に市制施行10周年を迎えるにあたり、この節目をひとつの契機ととらえ、未来に向けた新しいスタートとして、市民の皆さんが本市の持つさまざまな魅力を再発見・再認識し、郷土に誇りを持てる各種事業を実施する。平成26年度は、その先駆けとして市勢要覧の作成を行う。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	10	市制10周年記念事業費						
根拠条例等								
総合計画	基本計画 第1章 第4節 持続可能な調和のとれたまち							
H26年度事業の概要	市勢要覧作成 作成業務委託 8,100千円 業者委託するだけでなく、プロジェクトチームを立ち上げ他にはない宇陀市独自のPRを兼ねた人々の目にとまる「市勢要覧」を作成する。				財源の内訳 (単位:千円)			
	ありきたりな市勢要覧ではない、宇陀市PRを兼ねたものを作成することにより、市内外に宇陀市の魅力の再発見・再認識が図られる。				分担金 使用料 国費 8,100 県費 市債 その他 一般財源 H26予算額 A 8,100 H25当初予算額 B H25現計予算額 増減額 A-B 8,100			
事業のコスト		平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		<del>                             平成24年度(実績)   平成25年度(見込)                         </del>		合併市町村補助金 8,100千円				
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)								
活動指標名								
活動指標の算式								
活動指標の実績		単位	単位					
単位当たりコスト (円)								
事業の目標	市民の宇陀市の魅力の再発見・再認識に寄与する。				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業			



平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	大宇陀南部線運行事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	公共交通廃止路線の代替手段として有償バスを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	23	大宇陀南部線運行事業費					
根拠条例等	宇陀市代替バス事業に関する条例						
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実						
H26年度事業の概要	奈良交通のバス撤退路線の代替として、宇陀市大宇陀南部地域に市営有償バスを運行する。 運行便数: 6便/日 使用料: 大人250円 小人100円				財源の内訳 (単位: 千円)		
					分担金		
事業の成果	平成24年度において、延べ3,879人の利用(1日平均10.8人)があった。				使用料	820	
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	443	
					一般財源	3,817	
					H26予算額	A	5,080
					H25当初予算額	B	4,949
H25現計予算額	4,949						
増減額	A-B	131					
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			4,542	4,434	大宇陀南部線使用料 820千円 地元協力金 443千円		
従事職員数【人工】			0.10	0.10			
人件費(人工×8,000千円)			800	800			
総事業費: 人件費含む(千円)			5,342	5,234			
活動指標名			利用者数				
活動指標の算式			-				
活動指標の実績			3,879	単位	3,500	単位	
単位当たりコスト(円)			1,377		1,495		
事業の目標	奈良交通の撤退したバス路線の代替として、市営有償バスを運行することにより、市民の移動手段の確保を図っている。時刻表、運行経路の改善を行い利用者を増やしていく。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>過疎地有償運送事業補助金(らくらくバス)</b>								
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算						
事業の目的	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び、公共交通空白地域の交通手段の確保を目的として、宇陀市社会福祉協議会が事業主体となり実施している有償運送事業に対して補助金を交付する。				区分	No.	区分名				
					款	2	総務費				
					項	1	総務管理費				
					目	4	企画費				
					細目	40	菟田野地域事務所企画費				
根拠条例等	「菟田野らくらくバス」運行事業補助金交付要綱										
総合計画	基本計画 第3章 第3節 バス利用の促進										
H26年度事業の概要	菟田野地域内の公共交通廃止路線及び公共交通空白地域を1日3便運行する。				財源の内訳 (単位:千円)						
					分担金						
事業の成果	平成24年度の実績として、日に3便の運行で224日運行し、1日の平均乗客数は約3人で、年間690人が利用した。  利用目的として、高齢者世帯の買い物や通院での利用がほとんどで、該当地域の人々にはなくてはならない重要な交通手段となっている。				使用料						
					国費						
					県費						
					市債						
					その他						
					一般財源		1,883				
					H26予算額	A	1,883				
					H25当初予算額	B	1,645				
					H25現計予算額		1,645				
増減額	A-B	238									
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)			1,730	1,645							
従事職員数【人工】			0.005	0.005							
人件費(人工×8,000千円)			40	40							
総事業費:人件費含む(千円)			1,770	1,685							
活動指標名			利用者数								
活動指標の算式			-								
活動指標の実績			690	単位	人				732	単位	人
単位当たりコスト(円)			2,565		2,302						
事業の目標	地域に根ざした、より効果的な交通手段の確保。				備考				<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	臨時室生口大野駅案内所係員配置事業				
所管課	81	企画課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	近畿日本鉄道株式会社が実施する駅運営管理体制再構築により、室生口大野駅及び三本松駅の駅係員無配置化が行われたことから、当分の間、試験的に室生口大野駅改札出口付近に案内係員を配置し、観光客や一般利用客の利便性や安心を確保する。ただし、駅構内の安全配慮義務を行うものではない。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	4	企画費
細目	80	室生地域事務所企画費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第5節 公共交通機関の充実						
H26年度事業の概要	近鉄室生口大野駅への案内所係員配置 (H26. 4. 1~H26. 11月末)				財源の内訳 (単位:千円)		
	係員配置委託料	1,680千円	分担金				
駅構内使用料	73千円	使用料					
案内所電気代	40千円	国費					
案内所携帯電話代	40千円	県費					
事業の成果	観光客及び一般利用客の利便性や安心の確保が図れる。				市債		
					その他		
					一般財源		1,833
					H26予算額	A	1,833
					H25当初予算額	B	
					H25現計予算額		1,730
					増減額	A-B	1,833
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		1,730					
従事職員数【人工】		0.01					
人件費(人工×8,000千円)		80					
総事業費:人件費含む(千円)		1,810					
活動指標名	案内・対応件数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		10,000	単位 件				
単位当たりコスト(円)		181					
事業の目標	駅利用者の利便性や安心の確保				<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	デマンド型乗合タクシー運行事業					
所管課	81	企画課	(企画財政部)					
事業の目的 室生地域の公共交通廃止路線の代替手段としてデマンド型乗合タクシーを運行し、市民の移動手段の確保と利便性の向上を図ることを目的とする。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	4	企画費	
細目	82	デマンド型乗合タクシー運行事業費						
根拠条例等	宇陀市デマンド型乗合タクシーの運行に関する条例							
総合計画	基本計画 第3章 第3節 公共交通機関の充実							
H26年度事業の概要 室生地域において、室生北部線、室生南部線、診療所バスを廃止し、デマンド型乗合タクシーを運行する。 運行便数：6便/日 使用料 300円(同一エリア) 500円(複数エリア)					財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果 平成22年度より宇陀市地域公共交通活性化再生協議会において実証運行を経て、平成24年度より本格運行をしており、平成24年度においては1日平均20.3人、平成25年度上半期においては1日平均16.9人が利用している。					使用料	2,232		
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	10,134		
					H26予算額	A	12,366	
					H25当初予算額	B	12,350	
					H25現計予算額	12,350		
増減額	A-B	16						
事業のコスト			平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況 デマンド型乗合タクシー使用料 2,232千円			
決算額又は決算見込額(千円)			9,673	10,000				
従事職員数【人工】			0.70	0.70				
人件費(人工×8,000千円)			5,600	5,600				
総事業費:人件費含む(千円)			15,273	15,600				
活動指標名			利用者数					
活動指標の算式			-					
活動指標の実績			4,905	4,500				
単位当たりコスト(円)			3,114	3,467				
事業の目標			1台平均利用者数が2人以上になるように努め、効率的な運行を目指す。					
			備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (1)地域公共交通の確保			

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	<b>防犯灯設置事業補助金</b>
------	----	-----	-------------------

所管課	41	総務課	(総務部)	宇陀市一般会計予算	
-----	----	-----	-------	-----------	--

事業の目的	市民の防犯意識を高め、犯罪の防止と通行の安全を図るため、自治会等に対し、防犯灯設置に要する経費について補助するもの。 また、防犯灯をLED化することにより省電力でより明るくし、夜間のウォーキングなどの安全を図る。			区分	No.	区分名
	款	2	総務費			
	項	1	総務管理費			
	目	10	生活安全対策費			
	細目					

根拠条例等	宇陀市防犯灯設置事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現

H26年度事業の概要	補助対象経費		補助金額				
			蛍光灯	LED			
	防犯灯の新設	10千円	14千円				
	既設電柱に照明器具の新設	6千円	10千円				
	照明器具の更新	3千円	7千円				
	大宇陀地域	52基	356千円				
	菟田野地域	216基	1,551千円				
	榛原地域	215基	1,567千円				
	室生地域	52基	370千円				
	合計	535基	3,844千円				
事業の成果	防犯灯補助金交付実績及び見込 (単位:基)						
	補助対象区分	種類	H21	H22	H23	H24	H25
	防犯灯の新設	蛍光灯	16	20	12	6	6
		LED					9
	既設電柱に照明器具の新設	蛍光灯	27	15	5	15	8
		LED					27
	照明器具の更新	蛍光灯	39	28	9	46	27
		LED					378
	計		82	63	26	67	455
	※H25年度よりLED化補助を実施						
財源の内訳 (単位:千円)							
分担金							
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源	3,844						
H26予算額	A	3,844					
H25当初予算額	B	598					
H25現計予算額	3,534						
増減額	A-B	3,246					

事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	288	3,534				
従事職員数【人工】	0.03	0.03				
人件費(人工×8,000千円)	240	240				
総事業費:人件費含む(千円)	528	3,774				
活動指標名	補助金交付件数					
活動指標の算式	—					
活動指標の実績	67	単位	基	455	単位	基
単位当たりコスト(円)	7,881		8,295			

事業の目標	安全・安心なまちづくりを目指して、夜間の犯罪の防止と通行の安全を図る。 LED灯の補助金額を設定することで、省電力で明るい防犯灯のLED化の推進を図る。	備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (7)防犯灯、交通安全施設の整備
-------	---	----	--

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	住宅建築工事・リフォーム工事助成事業					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	市内の住宅関連業者の育成支援と、市民の居住環境の向上による定住促進を図るため、市内業者を利用して住宅の建築またはリフォーム工事を行う市民に助成を行う。助成については、市内の商店で利用できる「ウッピー商品券」を交付することにより、さらに市内商店の活性化支援を目的とする。		区分	No.	区分名			
			款	2	総務費			
			項	1	総務管理費			
			目	17	まちづくり支援費			
細目	1	まちづくり支援費						
根拠条例等	「宇陀市経済対策としての住宅工事・リフォーム工事助成事業に関する要綱」							
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築							
H26年度事業の概要	市内に住所のある個人が居住する住宅を、市内の事業者に依頼して修繕、補修、増築等のリフォーム工事を行うとき、「ウッピー券」を交付する。 対象経費が50万円以上の工事に対し、補助対象経費の10%分(上限10万円分) 補助金 ウッピー商品券 10万円分×80件=8,000千円 通信費 15千円		財源の内訳 (単位:千円)					
			分担金					
事業の成果	また、市内における建築関連事業者の営業活動が活発となり、リフォーム工事等が増加するとともに、市が1割分の商品券を交付することで、建築業者には予算額の10倍以上の経済効果が期待できるとともに、市内の商工業振興が図れる。 また、住宅の所有者にとっては生活環境の向上と投資額の軽減が図れ、快適な住宅機能を維持することにより、市民の転出や空き家の増加を防ぎ定住促進を図ることができる。		使用料					
			国費					
			県費					
			市債					
			その他					
			一般財源	8,015				
			H26予算額	A	8,015			
H25当初予算額	B	8,000						
H25現計予算額		12,000						
増減額	A-B	15						
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	5,856	12,000						
従事職員数【人工】	0.50	0.50						
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000						
総事業費:人件費含む(千円)	9,856	16,000						
活動指標名	実施件数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	61	単位 件				120	単位 件	
単位当たりコスト(円)	161,574					133,333		
事業の目標	市内流通の商品券をもって住宅リフォームの奨励をすることにより、市の経済の活性化を図るとともに市民の生活環境の向上を図ることができる。					備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (2)住宅建築・リフォーム工事助成事業		



平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会設立促進(協働推進)		
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)		
事業の目的	地域住民が身近な課題解決に向け、地域の個性を生かして自立的にまちづくりを推進するための組織「まちづくり協議会」の創設を推進する。 また、設立後はそれぞれの協議会の活動の中で『いきいきした地域づくり』ができるよう応援する。				宇陀市一般会計予算
	区分	No.	区分名		
	款	2	総務費		
	項	1	総務管理費		
	目	17	まちづくり支援費		
	細目	1	まちづくり支援費		
根拠条例等	「宇陀市まちづくり協議会設立検討会補助金交付要綱」「宇陀市いきいき地域づくり補助金交付要綱」				
総合計画	基本計画 第6章 第1節 市民と行政の協働のまちづくり				
H26年度事業の概要	○まちづくり協議会支援事業 まちづくり報告会講師謝礼 150千円 まちづくり講座講師謝礼 150千円(計3回開催) 旅費20千円、需用費281千円、役務費33千円 ○地域支援員賃金 3,348千円(2名分) ○協議会設立検討会補助金 500千円 ○いきいき地域づくり補助金 10,191千円(20団体分) ○いきいき地域づくり補助金(活動支援補助金) 3,000千円(300千円×10団体分)				財源の内訳 (単位:千円)
	事業の成果	地域自治区や地域協議会の廃止後における、市民主体のまちづくり組織を形成することにより、行政側からの押しつけではなく、自らが考えることにより地域の実情に応じた活動しやすい組織が生まれる。 平成26年度においては各協議会の連携を図るため事例発表会(まちづくり報告会)及び講座を開催し、市民に広く活動を周知するとともに、独自事業について活動支援補助金を支給する。 ※対象事業:市外住民との交流事業、コミュニティビジネス事業、高齢者生きがいづくり事業、多世代交流事業、子ども支援事業、その他市長が認める事業			
使用料					
国費					
県費					
市債					
その他					
一般財源		17,673			
H26予算額	A 17,673				
H25当初予算額	B 14,240				
H25現計予算額	14,240				
増減額	A-B 3,433				
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	4,880	14,240			
従事職員数【人工】	1.50	1.50			
人件費(人工×8,000千円)	12,000	12,000			
総事業費:人件費含む(千円)	16,880	26,240			
活動指標名	検討会・協議会設置地域人数				
活動指標の算式	—				
活動指標の実績	12,857	23,000			
単位	人	人			
単位当たりコスト(円)	1,313	1,141			
事業の目標	まちづくり協議会設立検討会の設立、さらには、まちづくり協議会の設立を目指す。 設立後のまちづくり協議会は、自主的に地域の課題解決に取り組み、地域の元気を創出する組織へと成長を促す。				
					<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (1)まちづくり協議会の設立推進



平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	空き家情報バンク設置						
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算						
事業の目的	市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。 また、人口増加と定住化及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。 さらに、親と同居する若い世代の市内定住も促進し、安定した世帯構成を継続する地域づくりを目指す。				区分 No.	区分名			
	款	2	総務費						
	項	1	総務管理費						
	目	17	まちづくり支援費						
細目	1	まちづくり支援費							
根拠条例等	「宇陀市空き家情報バンク設置要綱」								
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築								
H26年度事業の概要	所有者から申込みのあった物件情報を、市と「空き家の仲介に関する協定」を交わした宅地建物取引業者が確認し、市に情報を集約する。その情報を市外の利用希望者に発信することで定住促進を図る。 チラシ印刷等81千円 郵送料 5千円				財源の内訳 (単位:千円)				
	事業の成果	市内の空き家情報の収集や広域圏への周知を市が行うことで、空き家の有効活用と定住促進をめざし、市と協定を交わした宅地建物取引業者を介して取引を奨励する。				分担金			
使用料									
国費									
県費									
市債									
その他									
一般財源		86							
H26予算額		A 86							
H25当初予算額	B 76								
H25現計予算額	76								
増減額	A-B 10								
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況						
決算額又は決算見込額(千円)	81	76							
従事職員数【人工】	0.30	0.30							
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400							
総事業費:人件費含む(千円)	2,481	2,476							
活動指標名	定住促進奨励金支給件数								
活動指標の算式	—								
活動指標の実績	42.0 単位 件	50 単位 件							
単位当たりコスト (円)	59,071	49,520							
事業の目標	所有者に制度を周知し、空き家は地域活力や人口増加の受け皿であることを定着させる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (2)宇陀市空き家情報バンクの活用		

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	定住促進奨励金交付事業					
所管課	147	まちづくり支援課 (企画財政部)	宇陀市一般会計予算					
事業の目的	市内にある空き家や空き地の有効活用を通して、市外からの定住促進を図る。 また、人口増加と定住化及び自治会の活性化による活力あるまちづくりを推進するため、市内に住宅を取得した者が一定の要件を満たすとき、奨励金を交付する。 さらに、親と同居する若い世代の市内定住も促進し、安定した世帯構成を継続する地域づくりを目指す。			区分	No.	区分名		
				款	2	総務費		
				項	1	総務管理費		
				目	17	まちづくり支援費		
細目	1	まちづくり支援費						
根拠条例等	「宇陀市定住促進奨励金交付要綱」							
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築							
H26年度事業の概要	市内に住宅を取得(新築か購入)した者が一定の要件を満たすとき、奨励金(ウッピー商品券)を交付する。 郵送料等 6千円 奨励補助 転入分:100千円×40件=4,000千円 市民分: 50千円×20件=1,000千円			財源の内訳 (単位:千円)				
				分担金				
事業の成果	市内に住宅を取得(新築・購入)したものが一定の要件を満たすとき、奨励金(ウッピー商品券)を交付し、定住促進と市内経済の活性化を図る。			使用料				
				国費				
				県費				
				市債				
				その他				
				一般財源	5,006			
				H26予算額	A 5,006			
				H25当初予算額	B 5,006			
H25現計予算額	5,006							
増減額	A-B							
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)	3,831	5,006						
従事職員数【人工】	0.30	0.30						
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400						
総事業費:人件費含む(千円)	6,231	7,406						
活動指標名	奨励金支給件数							
活動指標の算式	—							
活動指標の実績	42.0	単位 件				50	単位 件	
単位当たりコスト(円)	148,357					148,120		
事業の目標	制度の周知をもって宇陀市への定住の機会を創出し、地域内の繋がりを維持させる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (3)定住促進奨励事業	

平成 26 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	起業支援型雇用創造事業(食でつながるコミュニティビジネス事業)				
所管課	147	まちづくり支援課	(企画財政部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	宇陀市室生大野地区で、高齢化によるコミュニティの希薄化、耕作放棄地の拡大といった地域がかかえる課題の解決にむけて協働で取り組んでいるNPOが、今後さらに活動を広げるため、「食」をキーワードに循環型社会の形成と美しい棚田風景の再生をめざし、高齢者を対象とした配食や共食などのコミュニティビジネスを実施することで、高齢者や子育て世代の女性にも雇用の機会を創出し、地域住民のやる気を引き出し元気のある地域づくりを行う。				区分	No.	区分名
					款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第6章 第3節 地域力の再生						
H26年度事業の概要	①配食事業：一人暮らしの高齢者や、毎日の食事に不安がある人のために、安否確認の見守りを兼ねて、栄養バランスのとれた食事を届ける。 ②共食事業：地域の高齢者が集まって一緒に食事することで、食生活を改善し、生活習慣を規則正しいものにする。 ③地域産品開発・販売事業：自家製の農産物を材料にした地域産品を開発・販売する。 ④耕作放棄地解消事業：拡大する耕作放棄地を開墾し、そこで栽培された農産物を配食・共食事業の食材や地域産品の原材料として使用する。 ○委託料 1,404千円 ○目標 週2回(各60食)以上配食の実施				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	■失業者に対して雇用の機会を創出・提供することにより、これらの者の生活の安定を図ることができる。 ■地域に根ざした雇用創出に資する事業を実施し、地域の安定的な雇用の受け皿を創出する。 ■「食」をキーワードに地域がつながることで、失われつつあるコミュニティの再生を図ることができる。 ■耕作放棄地を開墾することで美しい田園風景を再生する。				使用料		
					国費		
					県費	1,404	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H26予算額	A	1,404
H25当初予算額	B						
H25現計予算額		6,534					
増減額	A-B	1,404					
事業のコスト	平成24年度(実績)	平成25年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		6,534	緊急雇用創出事業 起業支援型雇用創造事業 1,404千円				
従事職員数【人工】		0.10					
人件費(人工×8,000千円)		800					
総事業費:人件費含む(千円)		7,334					
活動指標名	1回の配食件数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績		30	単位	件			
単位当たりコスト(円)		244,467					
事業の目標	■複数のNPOが協働でビジネスの手法を用いて地域課題を解決する取組が発展し、安定的な雇用を創出することで、他のモデルとなる。 ■農産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や体験農園のようなサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むことで、六次産業化の推進を図り、地域力を向上させる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (5)食でつながるコミュニティビジネス事業	